

令和8年8月31日

新規／

新たに4件を宮津市指定文化財に指定

～平安・南北朝期の仏像、上宮津・由良に伝わる歴史資料を新指定～

宮津市教育委員会は、新たに4件の美術工芸品を宮津市指定文化財に指定しました。今回の指定により、宮津市指定文化財は71件、このうち美術工芸品は41件となります。

経 過

- ・宮津市文化財保護審議会 答申：令和8年7月29日（水）
- ・宮津市教育委員会定例会 議決：令和8年8月31日（月）同日に告示

内 容

1. 木造聖観音菩薩坐像 1 軀（宗教法人慈光寺）
種 別：美術工芸品（彫刻） 年 代：南北朝時代（14 世紀後半）
2. 木造聖観音菩薩立像 1 軀（宗教法人如願寺）
種 別：美術工芸品（彫刻） 年 代：平安時代（11 世紀）
3. 丹後国由良村関連関札 3 枚（由良自治連合会）
種 別：美術工芸品（歴史資料） 年 代：江戸時代
(1) 山岡傳十郎様 御休 年 代：天明8年（1788）
(2) 新藤松蔵様 御下宿 年 代：安政5年（1858）
(3) 長州様 御休 年 代：慶應4年（1868）
4. 辛皮山山論裁許裏書絵図 1 鋪（上宮津財産区）
種 別：美術工芸品（歴史資料） 年 代：貞享5年（1688）

※詳細については、別紙「宮津市指定文化財の新指定について」をご参照ください。
※写真データにつきましては市教育委員会より提供いたします。

【担当者のコメント】

今回指定した4件は、それぞれ異なる角度から宮津の歴史を語る貴重な文化財です。

慈光寺の聖観音菩薩坐像は、足利将軍家とも関わりの深い院派仏師の特徴を示す南北朝時代の優品で、丹後府中における都市の発達や仏教文化を考えるうえで注目されます。

如願寺の聖観音菩薩立像は、平安時代後期に遡る市内でも古い仏像で、天台系仏像との共通性がみられます。

由良に残された3枚の関札は、幕府巡見使や外国奉行、山陰道鎮撫使が実際に由良を訪れたことを示し、交通の要所としての由良の姿を伝えます。

辛皮山山論裁許裏書絵図は、上宮津村と大股村との間で約30年にわたった山林の境界争いと幕府による裁許の過程を具体的に知ることができる資料です。

お問い合わせ先

教育委員会事務局 / 社会教育課 / 社会教育係（文化財保護担当）
TEL：0772-45-1642